

# 香川スクールソーシャルワーカー協会 ニュースレター



2018.06.15

第9号

## 2018年度 総会開催

6月3日(日)、サンメッセ香川において2018年度 香川スクールソーシャルワーカー協会の総会が開催されました。

総会において、各議案が賛成多数(正会員参加16名、委任7名、書面評決11名)で可決されました。

質疑応答の際、会員から「協会主催の研修会等に、会員の参加が少なく、なおかつ固定化されていることについて、協会としてはどのような見解をもっているのか。またその背景について状況分析をすることが必要ではないか」という貴重な意見が出る場面がありました。

なお、今年度、役員改正はなく、引き続き右記の役員が務めさせていただきます。

会 長	藤澤 茜
副 会 長	豊澤 恵美
事 務 局 長	柳田 和代
会 計	平木 陽子
企画運営委員 長	白井 理香
編集広報委員 長	岡本 久二代
幹 事	森 優子 木村 真紀



## 懇親会！

総会後には、同会場で協会の親睦と意見交換を兼ねた懇親会がひらかれました。

総会後の懇親会では、総会内容についての意見交換から、日々の活動における悩みやプライベートの話に至るまで、会員相互の情報交換や交流が図られました。美味しいお弁当をいただきながら、和やかな雰囲気の中で、今年度、会員になられたメンバーも2名も参加されて、とても有意義な会となりました。



## 協会パンフレット

パンフレット絶賛配布中です。

香川スクールソーシャルワーカー協会のパンフレットができました。私たちソーシャルワーカーの思いや基本姿勢、協会の活動案内や入会方法が書かれています。会員のみなさんはもちろんのこと、現職のソーシャルワーカーで会員ではない方、養成校で学ぶ学生さん、協会やスクールソーシャルワークに興味をお持ちの方にご覧いただきたいと思います。

「学生に配りたい」等々、パンフレットがご入用の方は、お気軽に編集広報委員に声をかけてください。よろしくお願いいたします。

香川スクールソーシャルワーカー協会  
Kagawa Association of School Social Workers



事務局

〒765-8505

香川県善通寺市文京町 3-2-1

四国学院大学 西谷研究室内

E-mail:kagawa\_k.ssw@gmail.com

※協会パンフ(イメージです)

## 会員紹介！

### 福島 唯那さん 高松市SSWer

大学を卒業し、夢だったSSWerとして高松市で採用して頂きました。しかしながら毎日、自分の未経験と力不足を実感しています。学校の先生方、また前任の方をはじめとするSSWerの方たちに教えて頂きながら、子どもたちの笑顔を見続けられるように、経験を積んでいきたいと思っています。自分に何が出来るのか分からないことだらけですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

### 栗島 美里さん さぬき市SSWer

さぬき市のSSWerになって2年、“子どもたちと同じ目線で話す”を常に頭に置いて日々頑張っています。おかげでアニメ、ゲームの知識が増えました。

これからも子どもたちにとって話しやすい存在になれるように頑張っていきます。



## 会員投稿のひろば「ほうせんかって、ピーマンやろ？」

今回は、土庄町でスクールソーシャルワーカーとして活動しておられる岡 広美さんに、日々思うことを綴っていただきました。

- 「ママのことな、思ったらな、しんどなるんやあ」臥せっている母が心配で不定愁訴を繰り返す小2。その度にたくさんの「大丈夫」を伝え届ける。
- 生活科の時間、「ほうせんかって、ピーマンやろ？」いきなり飛んできた質問？（なのか、会話なのか？）の返答に詰まる。一緒に頑張った九九名人。やったらできたね！
- 教室横の階段で、「大人の階段の～ぼる～♪ 時々またも～どる～♪」と歌に合わせて上り下りを繰り返す特別支援学級の小6。毎日、大人への階段を一步一步上り、確実に成長を遂げている。
- 「アルバイトしたら保護引かれるんやろ？」生保受給世帯の15歳。「貯金ができるみたい」と他の説明も添えると「好きなことに使えんの？」と呟く彼女は、これまで沢山のことを諦めてきた。「高松にアパートを借りて専門学校へ通うお金はない…」言い切る肩が落ちる。
- 「私は、母に捨てられたん」離婚してボロボロになって故郷に戻ってきたお母さん。やっと言えたねと思っていたら、数日後、「みんなのおかげで強くなれた」と…。お母さんも子どもと一緒に成長している。
- 「島で安心して暮らしたいだけなんや！」肢体不自由児をもつシングルマザー。とても重かった。支援を必要とするご家族のために、私たちはどんな地域社会を作っているだろうかと考えることさえおこがましく、無力感に苛まれる。

この地に暮らし始め、感謝することが多くなった。子どもを真ん中に大人が成長させてもらっている事実、ただ感謝する。

SSW活動で行き詰ることは多いけれど、自分自身も、先生方や地域の方々に支えられ、一生懸命生きる子どもたちに教えられながら、成長させてもらっている日々。

リソースの少ないこの島で、その代わりにとでもいうような、もの凄いソーシャル・キャピタルが機能しているこの島で、一つ一つ「信頼」を積み上げていく。

SSWって、(S)信用と(S)信頼を(W)分かち合う仕事かな。子ども達の安心のために。

## 編集・発行

新年度がはじまり、はや3カ月近くになろうとしています。会員のみなさまにおかれましては、それぞれの場でますますご活躍のことと思いますが、同時にお疲れの出る頃かとも…。

今年度は、編集広報委員が高松市の小川さんを加え5名となり、これまで以上に、「会員間の情報交換や交流のために何ができるのか」「協会の普及啓発の一助になれば」と考えてながら活動していきたいと思っています。新メンバーも含め、どうぞよろしくお願い致します。



香川スクールソーシャルワーカー協会 編集広報委員 岡本 小川 川添 清水 波多江

事務局：四国学院大学西谷研究室内 香川県善通寺市文京町3-2-1

✉ kagawa.k.ssw@gmail.com